



タブレットの使い方10のきまり



- ① 学^{がくしゅう}習^つのために使う^{もくてき}ことが目的^{じゆぎよう}です。授^か業^かに関わる^{つか}ことだけに使^{つか}いましょう。
※ 原則^{げんそく}、休^{やす}み時^じ間^{かん}（朝^{あさ}の学^{がくしゅう}習^{まへ}、10分^{ふん}休^{やす}み、業^{ぎょう}間^{かん}休^{やす}み、昼^{ひる}休^{やす}み）は使^し用^{よう}しませ^{せん}ん。
- ② 授^{じゆぎよう}業^{しよう}でタブレットを使^{もくてき}用^{がくしゅう}するときは、目的^{しよう}の学^{しよう}習^{しよう}のためだけに使^し用^{よう}しま^すす。※ 先生^{せんせい}に分^わからないからと、タイピングや画像検索などしませ^{せん}ん。
みんなが何^{なん}のページ^みを見^みているかは、教^{きょう}育^{いく}センタ^{せん}ーの先生^{せんせい}には分^わかっていま^すす。
- ③ 学^{がっこう}校^かでは「壁紙^{かべがみ}・ア^かイコ^かン」は変^かえませ^{せん}ん。
- ④ 自^じ分^{ぶん}のタブレットを人^{ひと}に貸^かしたり、人^{ひと}のタブレットを使^{つか}ったりしませ^{せん}ん。
自^じ分^{ぶん}のアカウ^{ほか}ントやパスワ^{ひと}ードを他^{おし}の人^{ひと}に教^{おし}えませ^{せん}ん。
- ⑤ カメ^{きのう}ラ機^{しよう}能^{せんせい}を使^し用^じするときは、先^{せん}生^{せい}の指^し示^じに従^{したが}いま^すす。
※ 人^{ひと}や建^{たてもの}物^{ぶつ}を撮^{さつえい}影^{えい}するときは、必^{かな}ず撮^{さつえい}影^{えい}する相^{あいて}手^てや場^{ばしょ}所^{じょ}の許^{きょ}可^かをもらいま^すす。
- ⑥ 相^{あいて}手^てを傷^{きず}つけたり、嫌^{いや}な思^{おも}いをさせたりするこ^{けいじばん}とを掲^{けいじばん}示^{ばん}板^{ばん}やホ^{きょうゆう}ームペ^{げったい}ージ、
SNS、メ^かールなど^{ともだち}に書^かいたり、友^{ともだち}達^{だち}と「フ^{きょうゆう}ァイ^{げったい}ルの共^{きょうゆう}有^{げったい}」は絶^{ぜったい}対^{たい}にしま^すせん。
- ⑦ タブレットをぶつけたり机^{つくえ}から落^おとしたりしないよう^{ちゅうい}に注^{ちゅうい}意^いしま^すす。
※ 鉛^{えん}筆^{びつ}をはさんだま^{がめん}ま画^と面^{めん}を閉^とじたり、タブ^{うえ}レットの^お上^もに重^{おも}い物^{もの}をのせたりしませ^{せん}ん。
- ⑧ 「スクラ^{など}ッチ」等^なのプ^{じぶん}ログ^{つく}ラミ^{しよう}ングは『自^し分^{ぶん}で作^{つく}ったものだけ』使^し用^{よう}しま^すす。
※ 他^{ほか}の人^{ひと}が作^{さく}った作^{さく}品^{ひん}を学^{がっこう}校^かでは使^し用^{よう}しませ^{せん}ん。
- ⑨ 設^せ定^{てい}を勝^か手^てに変^かえたり、元^{もと}に戻^{もと}せないよう^{へんこう}な変^{へん}更^{こう}をしま^すせん。
- ⑩ 「このル^{まも}ール」が守^{まも}れないときは、タブ^{つか}レットを^{つか}うこ^{つか}とがで^{つか}きな^{つか}くなり^{つか}ま^すす。

